

週報

Weekly Report

RI テーマ
ロータリーを实践し
みんなに豊かな人生を

2013-2014 年度国際ロータリー会長 ロン・パートン

例会日 / 毎週月曜日 12:30 ~ 13:30

例会場 / 〒860-8536 熊本市中央区上通町 2-1 ホテル日航熊本内

創立日 / 昭和 33 年 9 月 1 日 (承認 昭和 33 年 11 月 24 日)

会長 / 野口泰則 幹事 / 今村浩昭 クラブ広報委員長 / 丸山浩之

www.kumamoto-southrc.org

第6回例会記録(通算第 2574 回)

平成 25 (2013) 年 8 月 19 日

斉唱 国歌 君が代

ロータリーソング「われらの生業」

来訪者紹介

西稜 RC パスト会長 奥村紘子様

米山奨学生 インダギジマナ・ジャスティン君

会長報告(野口泰則君)

本日の卓話では、濱田定勝パスト会長より今の時節にぴったりの「8・15」をテーマにしたお話をいただきます。ご経験による、たいへん貴重な内容のお話しが拝聴できると楽しみにしております。どうぞ宜しくお願いします。

8月3日のこととなります。井上雅之会員のご尊父様が逝去されました。当クラブを代表いたしまして慎んでお悔やみ申し上げます。

さて先々週、暑気払い&新入会員歓迎会が行われました。同じ日、同じ場所、同じ時間で西陵ロータリークラブの皆様とも一緒であったことも麗しい出来事であったと嬉しく思います。当日は50名を超える盛大な会となりましたが、とても楽しく有意義な時間であったと思います。新入会員の皆様は如何でしたでしょうか。

続いて台北大同扶輪社からの青少年短期交換留学生に関しまして、塚本 侃姉妹クラブ委員長・山本 円国際奉仕委員長、一週間ご苦労様でした。そして何よりも気持ち良くホームステイを受け入れてくださった馬場大介会員・坂本研一会員・丸山浩之会員へ心より感謝申し上げます。

国際ロータリー第 2720 地区 熊本南ロータリークラブ

Rotary International District 2720 Kumamoto South Rotary Club



濱田定勝会員、貴重な体験談をありがとうございました。(卓話より)

今日の例会

1. 今日之歌
2. 来訪者紹介
3. 会長・幹事・各委員会報告
4. 外部卓話 坂口恭平様 (建築家)

今月・来月の行事

- 9/2 臨時総会例会
- 9/9 創立 55 周年記念例会 @ホテル日航熊本
- 9/30 観月会
- 10/12-13 RAC 年次大会@人吉
- 10/19-20 第12回日韓親善会議 @ソウル

貴重ながらも長く感じられた一週間であったと思います。この様にして姉妹クラブとの関係を深めながら、歴史と伝統と共にあるクラブ間の信頼が培われてきたのだらうと思います。

幹事報告(今村浩昭君)

1. 台北大同扶輪社より青少年短期交換留学についてのお礼が届いております。
2. 第 2720 地区 RAC 第 29 回年次大会本登録のご案内が届いております。
3. ガバナー事務所より第 12 回ロータリー日韓親善会議のお知らせが届いております。
4. 米山梅吉記念館より賛助会入会のお願いが届いております。
5. 8/19・8/26・9/2の例会場は7F ガーデンバンケットに変更となります。

出席報告(永井富士雄君)			
会員数	出席数	出席率	前々回 修正出席率
58名	43名	76.79%	78.18%
出席規定適用免除者 6名		欠席記録免除者 0名	
名誉会員 0名(会員数には含まれません)			

例会変更のお知らせ

○05福祉RC～創立8周年記念例会のため時間変更

[日 程] 8月20日(火)

[変更前] 12:30～

[変更後] 18:30～

○熊本東RC～親睦会のため時間場所変更

[日 程] 8月27日(火)

[変更前] 12:30～

[変更後] 19:00～

[場 所] 松屋本館

○熊本東南RC～親睦会のため日程変更

[日 程] 8月28日(水)12:30～

[変更後] 8月30日(金)時間不明

[場 所] ビール列車

○水前寺公園RC～親睦会のため場所変更

[日 程] 8月28日(水)18:30～

[場 所] ニュースカイホテル スカイテラス

委員会報告

●米山奨学会委員会(田邊信一君)

・8月分奨学金の支給が行われました。



・米山奨学生 ジャスティン君の卓話派遣日程が決まりましたのでお知らせ致します。

9/4(水)熊本東南 RC

10/3(木)熊本北 RC

10/10(木)玉名中央 RC

10/28(月)熊本城東 RC

11/14(木)天草中央 RC

●雑誌委員会(山本博史君)



表紙のメッセージ 本文 29P 参照

まず、海上を美しく彩る仕掛け花火の最高の一瞬を捉えた見事な写真。これは、毎年8月16日に行われる京都府宮津市の宮津湾で行われる花火大会の写真です。この花火大会は、1924年(大正13年)に国鉄宮津線が開通した年から始まったもので、この花火大会に合わせて灯籠流しも催されます。その始まりは、400年前の江戸時代にさかのぼります。初盆の家では8月7日の7日盆に間に合うように精霊船をつくる。藁で船体を創り、花輪などで飾り付け、人形の船頭も乗せる。寺で供養してもらい、15日に太い青竹を井形に組んで乗せて沖に流し、花火大会の始まりに合わせて点火する。さらに、1万とも言われる先祖供養の紅白の追っかけ灯籠も流される。この精霊流しが湾内を漂い、夜空を焦がす花火と一体化して実に壮観だそうです。花火の起源はギリシャ・ローマにさかのぼるとい説もあり、ヨーロッパ諸国に流布されたのが16世紀で18世紀に各地で花火大会が催されるようになった。日本に花火大会が伝わったのは、1953年(天文12年)の鉄砲伝来と共に火薬の配合が伝えられた後だそうで、1613年に唐人が江戸城二の丸であげたのを徳川家康が見物したといわれ、その後花火師があらわれ盛んになったそうです。

反対の表紙は、名古屋市久屋大通り公園のメイン会場で2010年8月28・29・30日に催された「にっぽんど真ん中祭り」に参加した長野市の信州大学「YOSAKOIソーラン・ワッショイサークル」の100人が飛び跳ねる踊りの写真です。信州大学「YOSAKOIソーラン・ワッショイサークル」は準優勝に輝きました。この祭りは、この年で12回目を迎え、全12会場で大会が催され2万3千人が参加し、観客も3日間で210万人を超えたそうです。最近では、中部地方の代表的な祭りになってきているようです。機会がありましたらぜひ皆様方もこの二つの祭りに一度行かれてみてください。

横書きのページから

特集 会員増強及び拡大月間 仲間を増やす

サクセス・ジャパン大作戦として 6P～11Pまで

国際ロータリー(RI)は、2011年の秋の理事会で2015年6月まで現在の約122万人の世界のロータリアンを130万人にすることを決議し、目標達成のために「地域会員増強計画」を確定しました。日本では、2015年までに9万5900人にする、つまり3年間で10%強の増強計画を立てました。2013年度の実績が目標を下回る結果となりましたので、本年度から日本全国で「サクセス・ジャパン大作戦」を展開し2013-2015年度に10万人にすることを目標として会員増強をするように、

会員維持・クラブ拡大・女性・若手をターゲットに会員増強に臨みましょう。

会員増強のためのアイデア紹介として

リスボン国際大会・分科会「会員基盤の強化：成長の機会とクラブの未来」から

モンティゴベイ RC のハレシュ・ラムチャンダ氏よりアイデアの交換について、シアトル RC のバージニア・キレン氏よりエグゼクティブから明日のリーダーへとの話が寄稿されており、また、新会員にロータリーを知ってもらう会員維持増強とのことで、太田 RC の橋本徹幹事・岡山西南 RC の会員維持増強委員長の古林和義氏の話が載っております。

12P～13P には、ロータリー例会の食事では会話を楽しもうとのことで、かつては「食事の時は黙って食べなさい」でしたが、食事のマナーも変わり、食事の際に話をしながら食べるものになってきています。食事をしながら耳学問で知識を増やす、海外ではランチミーティングが一般的です。また例会の楽しみは、異なる業種の方々と食事しながらの会話です。

14P～19P にかけては、2013 年 6 月 23～26 日に開催された、リスボン国際大会での「平和を語る」が書かれています。世界のあるべき姿とは、人々が豊かで幸せな生活を送れるよう「奉仕を通じて平和を」を実践することです。個人主義が横行している現代社会に警鐘を鳴らし、他人の問題を自分の問題として考えることが大事である。ポリオについて、アフガニスタン・ナイジェリア・パキスタンにおいて、発症率が昨年と比べ 40%減少し、ポリオの保有率が 50%減少したとの報告があったが、同時にゴールは見えていることと、実際にゴールをきることは別の問題である。更なる活動が必要であることを言っています。また、平和のために新たな活動も必要であると書かれています。

20P～25P には、世界に広まる国際奉仕の輪として、高松北 RC の松岡利安氏より、民主主義の進むミャンマーで 10 年来支援の児童養護施設訪問について、倉吉 RC の伊藤文利氏よりフィリピン・ダバオで貧民層未就学児への食糧供給プロジェクトについて、神奈川東 RC より村中の歓迎、継続の責任を実感――スリランカに井戸を寄贈、大阪天王寺 RC の和田健氏よりスリランカ・バブニアの児童に学びの明かりを、日立 RC より、タイ洪水復興支援・浄水器復旧プロジェクトに参加して、郡山南 RC の木原悟氏より明日のラオスを担う子供の育成――小学校に給水タンク寄贈、東京広尾 RC の御手洗美智子氏より、江戸時代盛んだった「上総掘り」の井戸が、ケニアで活躍！ についての寄稿が載っております。

26P～29P まで、ロータリー希望の風 奨学金の現状報告。

30P～31P に、米山記念奨学事業の基礎知識が記載されています。

36P～37P には、親睦と国際理解を深めようということで、第 12 回日韓親善会議のご案内が載っています。縦書きのページから

日本・トルコ友好の礎（戦時の偉業を後世に伝えるために）とのことで、串本町の田島勝正町長が寄稿されています。串本町は和歌山県の一番南、本州の最南端に位置する人口 1 万 9 千人弱の小さな町で、日が一日中当たるような温暖で豊かな自然が残る大変住み

やすい町です。しかし、残念なことに台風がよく上陸する町です。今回のお話も 1890 年（明治 23 年）9 月 16 日の出来事で、1887 年（明治 20 年）小松宮章仁親王が明治天皇の命を受けてトルコ皇帝アブドリュハミト 2 世に謁見をされましたが、その返礼の意味を込めてオスマン・パシャ提督以下 600 名を超える大使節団が日本に来ました。この船がエルトゥールル号です。エルトゥールル号が帰国の途に就いたあと、出港 3 日後の 9 月 16 日に岸本町大島の沖合いで台風遭遇し、600 名を超える人々が遭難しました。その際に串本町の人々が村をあげて救出を行い、貴重な食べ物をはじめ、遭難者を親身になって助け、遺体の引き上げで 21 日間の作業を行い、239 体の遺体を引きあげ茶毘に付し、仕官 6 人、水平 63 人を救出し、その後トルコのイスタンブールへ送り届けました。その 39 年後の 1929 年（昭和 4 年）に昭和天皇が遭難者の碑に参拝されたことをトルコの初代大統領であるムハタファ・ケマル・アタチュルクが聞き感銘を受け、トルコのお金で慰霊碑を建て、5 年に 1 回慰霊祭を行っているそうです。話はここで終わるのではなく、その後 95 年経った 1985 年 3 月 15 日のイラン・イラク戦争の際に、サダム・フセインが突然 3 月 17 日以降イラン上空を飛ぶ飛行機は民間機でも撃ち落とすと発表しました。ヨーロッパの飛行機は自国民を乗せるのに精一杯で日本からの救援機は飛ばさないと決定されました。トルコでも救出が大変なその時、トルコ人は飛行機に乗せず歩いて、または車で帰らなければならないのに、取り残された日本人を救出するためにトルコの飛行機が 2 機飛んできました。日本では考えられないことだと思います。トルコの人々が親日家なのは、①17 世紀来の宿敵であるロシアを日露戦争で破ってくれたこと②第 2 次大戦で焦土と化した国を世界の大国にしたことへの敬意の念を持っているらしいこと、そしてこのエルトゥールル号の話を知っているからだそうです。なぜなら今現在においても小学校の教科書にはすべてこの話が載っており、このことを子供たちが忘れずにいてくれるのだそうで、教育とはやはり大事だと感じます。また後に見つかった当時の文書には、トルコより人命の救出等にかかった費用の支払いの申し出に対し「お金はいらない、そのお金は遭難した人にあげてください」と書かれていたそうです。エルトゥールル号の話はたまたま串本町で起こりましたが、今から 120 年前の明治時代の気骨のある精神を持った日本人ならどの地域でも同じような行動をとったのではないかと思います。

●スマイルボックス(三角雄介君)

○奥村紘子様(西稜 RC)

残暑お見舞い申し上げます。久しぶりのメーキャップです。先日は親睦会会場がご一緒に楽しく過ごしました。

○野口泰則君・今村浩昭君・堀川貴史君・藤見泰之君・坂本幸樹君

西稜 RC の奥村様・米山奨学生ジャスティン君の来訪を歓迎いたします。本日の濱田大先輩の卓話、楽しみにしています。また、先日の暑気払い&新入会員歓迎会盛り上

がってよかったです。青少年交換留学生のホームステイ大成功ありがとうございました。心より感謝いたします。

○井上雅文君 V

8月3日に父が亡くなりました。75才でした。死因は前立腺がんでした。葬儀の際にクラブより供花を頂き、またその後も多数の方々より心温まるお言葉を掛けて頂き、大変心強く、励みになりました。父が亡くなったのは残念でありませんが、皆様のお心遣いに感謝のスマイルをさせていただきます。ありがとうございました。

○姉妹クラブ一同

馬場大介会員・坂本研一会員・丸山浩之会員並びに各ご家族の皆様、及び会長・幹事・会員の皆様のご協力により、今年度の短期青少年交換留学受入事業が無事終了しました。天候面では最初の2日間は冷や冷やし通しでしたが、日ごろの行いが良いせい、スケジュール通りに終わることが出来ました。3人の子供達はみんな素直で礼儀正しい子達で、ホストファミリーとの親交を深め、お別れの時は涙々のひとときでした。皆様、本当にご協力ありがとうございました。

○山内昭徳君

本日の濱田会員の卓話、非常に楽しみにしております。

○寿崎肇君

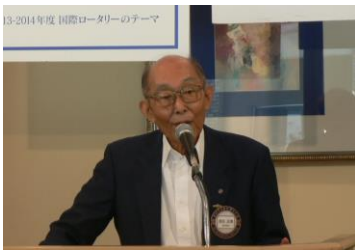
明日8/20県立体育館で熊本市の中学生800名によるバドミントン大会が催されます。熊本南RCが約30年前から始めたもので、ここ1~2年お休みしており、その間私が代わって続けております。800名の中学生の試合、お母さん方の熱心な応援、女子の黄色い声の大声援、楽しいものです。時間を作ってご覧ください。

○井上雄一朗君

本日体調不良のため早退いたします。申し訳ございません。

●会員卓話(渡邊秀章君)

「8・15に想うこと」 濱田定勝君



皆さんこんにちは。8月15日は皆さんもご存知のとおり終戦記念日です。しかし私にとっては8月19日、まさしく今日がその日です。なぜ8月19日が終戦日なのか、それは訓練が終わった日だからです。今日偶然にも例会でお話させて頂く事を大変意義深く感じております。本日はそのお話をさせていただきます。

私は戦争当時名古屋の航空隊で特別攻撃隊の訓練をしておりました。当時訓練生は25名おりました。特別攻撃隊(特攻隊)の訓練とは、250キロの爆弾を積んで敵に突っ込んでいくというものです。訓練では1500mの上空から45度に突っ込み、500~600mあたりで60度に突っ込むということを毎日やっておりました。なぜ8月19日まで訓練したのかは、城山三郎の「一步の距離」を読んで頂ければよくわかるかと思えます。機会があれば是非お読みください。まず8月15

日をどういう想いで迎えたのか、8月15日は玉音放送があるということで昼前に全員集合命令がありました。戦況は厳しく、私達も日本は負けるのではと感じていた頃で、いよいよ本土決戦を行うから団結し頑張ろうという話だと思っておりましたが、まったく違うものでした。その日の午後、マッカーサーが厚木海軍飛行場に降り立ちました。それでも若い将校達がゼロ戦からビラを撒き、決起しよう・一同集まれと呼びかけ、集まっている私達に「今から言うことは強制ではない。最後の決起を行う者は一步前に出る」と言いました。私はこれでやっと家に帰れると思っていたのに、気付いたら一步前に出ておりました。しかし私だけでなくそこにいた全員が一步出ていたのです。それから郡山で赤とんぼという練習機でまた訓練をしましたが、結局8月19日に武器を捨て終わったのです。是非話しておかなければと思うことは、戦後日本は民主主義国家となり、変化しました。しかし大事な忘れ物をしているように思うのです。GHQは強制的に日本の文化・伝統を捨てさせました。どういう方法で行ったか、教育です。道徳・歴史・地理を取り上げられました。最近では自分が一番大事・苦しい時他人に転嫁する、そういう人が多くなってきているように感じます。戦前の教育と戦後の教育をもう一度考えたい。人間としての道徳を考えたいと思うのです。

【例会予定】

9/2 月間テーマ卓話 原新世代奉仕委員長

RAC会長・幹事

9/9 55周年記念例会

9/16 祝日のため休会

9/23 祝日のため休会

9/30 外部卓話 ふもと旅館 松崎様

【RAC・IACの例会日程について】

○熊本南ローターアクトクラブ例会(第1・3木曜日)

日時:未定

内容:バーベキュー予定

日時:8月19日(木)20:00~

場所:西部ガス

内容:OB卓話

○熊本国府高校インターアクトクラブ例会(第1・3水曜日)

日時:9月18日(水)16:00~

場所:国府高校「大会議室」

内容:夏休みの活動まとめ・文化祭準備

ただし、学校の都合上(他団体が施設を利用する場合や生徒の課外、職員の会議等)、急遽変更される場合もあります。

ご出席の場合は、メーキャップに充当することが可能です。